

平成 17 年度
紋別市における景気動向調査
＜第 I 四半期＞

報 告 書

紋 別 商 工 会 議 所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成17年7月1日

(2)調査対象期間 平成17年4月～6月期の実績および平成17年7月～9月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	17社	56.7%
水産業部会	30社	23社	76.7%
機械工業部会	30社	20社	66.7%
建設業部会	30社	20社	66.7%
観光・サービス業+諸業部会	30社	22社	73.3%
合計	150社	102件	68.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

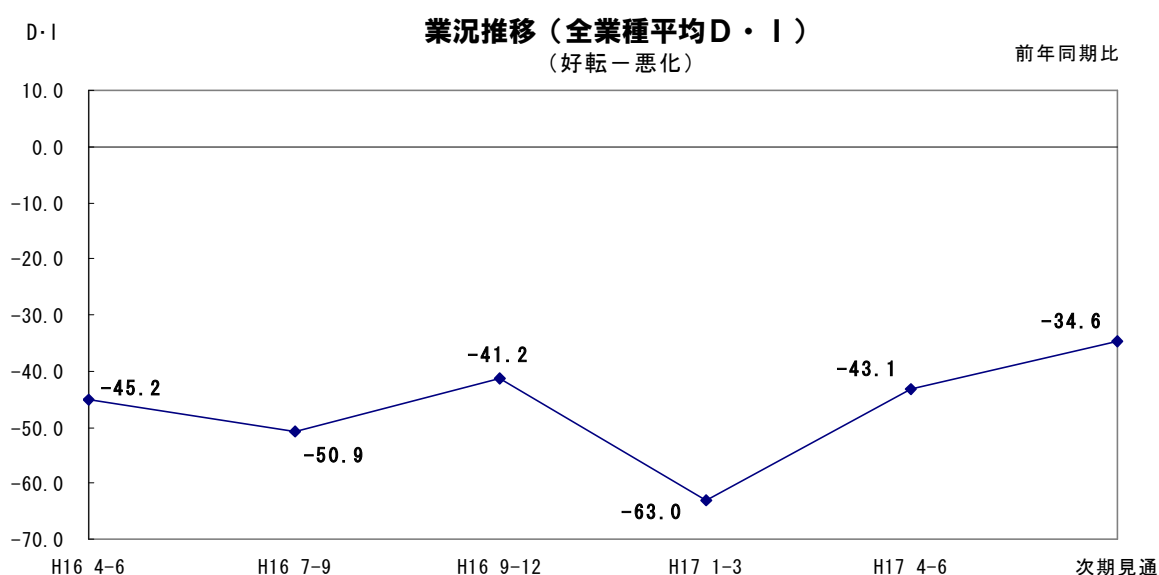
Ⅱ. 概 況

－業況は依然低水準で推移－

1. 全体の動き

本調査による**今期の業況判断D・I値**は、全業種平均で前年同期比では $\Delta 43.1$ と、前回調査時の $\Delta 63.0$ より19.9ポイントマイナス幅を縮小したが、依然低い水準で推移している。

業種別D・I値では、前年同期比で商業・食品業（前期 $\Delta 93.8$ →今期 $\Delta 64.7$ ）、水産業（前期 $\Delta 63.6$ →今期 $\Delta 39.1$ ）、機械工業（前期 $\Delta 38.1$ →今期 $\Delta 40.0$ ）、建設業（前期 $\Delta 52.6$ →今期 $\Delta 10.0$ ）、観光・サービス・諸業（前期 $\Delta 72.7$ →今期 $\Delta 63.7$ ）と、機械工業部会を除く4部会でマイナス幅を縮小した。



業況悪化の要因としては、依然、長引く景気の低迷から得意先（客足）の減少による売上の不振が全業種で大きなウェイトを占めているが、それに加えて、人件費の上昇（水産業部会）、諸経費増（水産業部会、観光・サービス業部会）、同業者間の競争（建設業部会）、などの問題点が挙げられている。また、原油価額上昇の影響から、燃料代や原材料代の値上がりを訴え、収益性が悪化している企業が出始めている。

次期の見通しは、業況・売上の両D・Iとも今期より好転するとの期待を寄せているが、それに反して資金繰りD・Iは悪化するとの予想をする企業が多く、関連資材・原料等の仕入れ価額上昇を商品やサービスへ価格転嫁できずに採算性の悪化を懸念する、とのコメントが寄せられている。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況D・I値（前年同期比）△64.7（前期△93.8、来期見通し△41.2）〕

業況D・I値（前年同期比）は、前期より29.1ポイント大幅にマイナス幅を縮小した。しかし、業況は依然厳しい状況で推移している。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多い。

《業界の問題点等》

- ・大型量販店の出店による客数減少が大きな要因と考えられる。また、中心商店街の空き店舗が点在し、商店街全体の連動性に欠ける。顧客用の共有駐車場があれば良い。（小売）
- ・業界全体が悪い中、自社だけが良くなる訳がない。何の方策もない。（小売）
- ・地元のお店で買い物をする事は大事だが、商店にはサービスの向上を望む。（食品製造）

【水産業部会】〔業況D・I値（前年同期比）△39.1（前期△63.6、来期見通し△21.8）〕

業況D・I値（前年同期比）は前期より24.5ポイントマイナス幅を縮小した。しかし前年同期には△16.0とマイナスながらも他の業種に比べ堅調であったことから、今期は厳しい状況におかれている。

《業界の問題点等》

- ・原料不足、油（石油等）の高騰（水産加工）
- ・浜値が高く売り値が安いので、加工場は非常に厳しい。また、労働者が高齢化し、若い働き手が少ないのが不安である。（水産加工）
- ・一次加工主体から、二次、三次加工へ少しでも転換していく意欲や挑戦する努力を喚起しなければならないと判っていても、なかなか踏み出せない。具体的には、「原料」の問題「売れるかどうか」資金的な問題「衛生的な工場や施設」の問題などが山積しているため、一步を踏み出せない。（水産加工）
- ・原材料単価の上昇による利益率の減少、食品衛生に係る管理費の増大、原材料の不足。（水産加工）

【機械・工業部会】〔業況D・I値（前年同期比）△40.0（前期△38.1、来期見通し△26.3）〕

業況D・I値（前年同期比）は5部会の中で唯一前期より1.9ポイント悪化し、業況は依然厳しい状況で推移している。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多い。

《業界の問題点等》

- ・業界の問題点として「魅力あるサービスの創出」「原材料の値上がり」「個人情報保護法への対応」「環境問題への対応」「他地区の業者との競争が増えてきた」ことが上げられる。（印刷）
- ・他地域からの同業者参入がある。（車両販売修理）

【建設業部会】〔業況D・I値（前年同期比）△10.0（前期△52.6、来期見通し△35.0）〕

業況D・I値（前年同期比）は前期より42.6ポイント大幅にマイナス幅を縮小した。繁忙期を迎えた事と、各企業の懸命な経営努力が伺える。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」、さらに工事量

の減少から「同業者間の競争」を訴える企業が多い。

《業界の問題点等》

- ・ 公共工事の減少（建設）
- ・ 業界全体の仕事量が減少しているのが最大の問題。自治体財政の好転待ち。新分野への開拓が急務。産官の連携が必要。（管工事）
- ・ 9月～11月までの仕事の見通しが全くない。（土木）
- ・ 利益率の悪化。燃料の高騰、社会保険料の上昇、一部石油製品の値上がり等、原価及び諸経費増が収益性を悪化させている。（土木）
- ・ 受注競争によりデフレ傾向が続き、収益確保が難しい。（建設）
- ・ 仕事を選ばずに受注することによって設備もそれなりにかかり、諸経費も人件費も増加している。地元での仕事が切れることなくあることが一番だと思えますが・・・。（電気工事）

【観光・サービス部会】〔業況D・I値（前年同期比）△63.7（前期△72.7、来期見通し△50.0）〕

業況D・I値（前年同期比）は前期より9.0ポイントマイナス幅を縮小した。しかしながら、業況は依然厳しい状況で推移している。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」、さらに「諸経費の負担増」を訴える企業が多い。

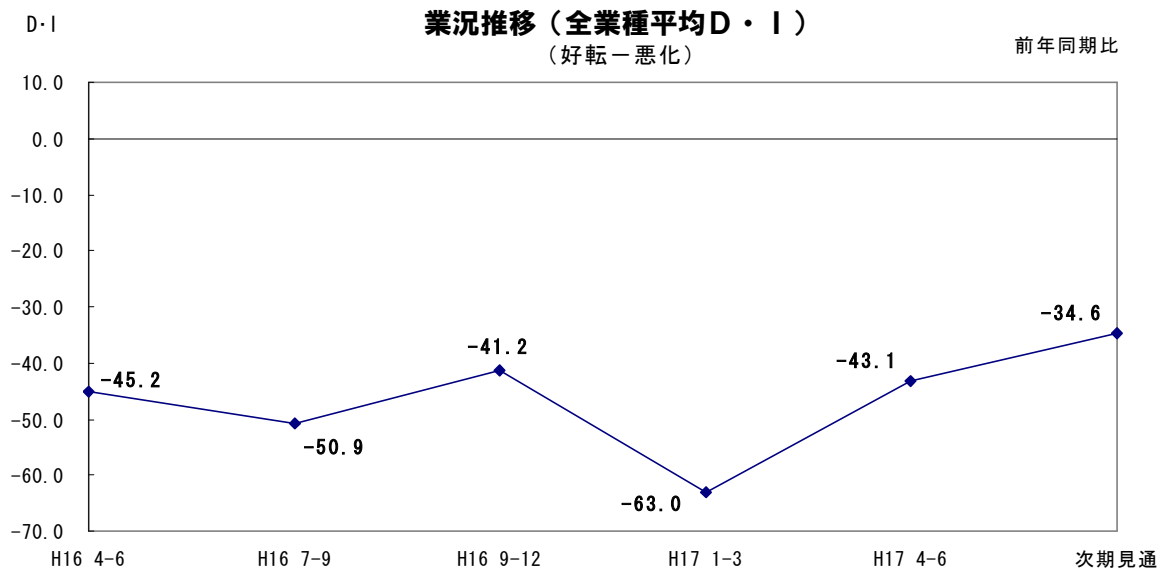
《業界の問題点等》

- ・ 消費税の負担が重い。なかなか消費者価格へ転嫁できない。（飲食店）
- ・ 中心商店街の衰退による影響がある。（飲食店）
- ・ 全てにおいて努力が足りない。（美容）
- ・ 売上の不振、出張客の減少、過疎・高齢化。（飲食店）
- ・ 道都大学の撤退で人材不足を心配していましたが、それ以上に客足の減少に驚いています。この先がかなり不安です。（飲食店）
- ・ パチンコ店の深夜に及ぶ営業により、飲食店への影響が大きい。（飲食店）
- ・ マイカーの増加で客足が減少するのは時代の流れで止めようがない。「入るを計って出るを制す」の心がけで努力奮闘を重ねます。（運送）
- ・ 仕入れが高く、品不足。（飲食店）
- ・ 大学撤退による人口の減少が大きい。景気が悪すぎる。（クリーニング）
- ・ お客様の財布のヒモが非常に堅くなった。以前なら一人分ずつの注文が、二人で一人分の注文が目立ってきた。（飲食店）

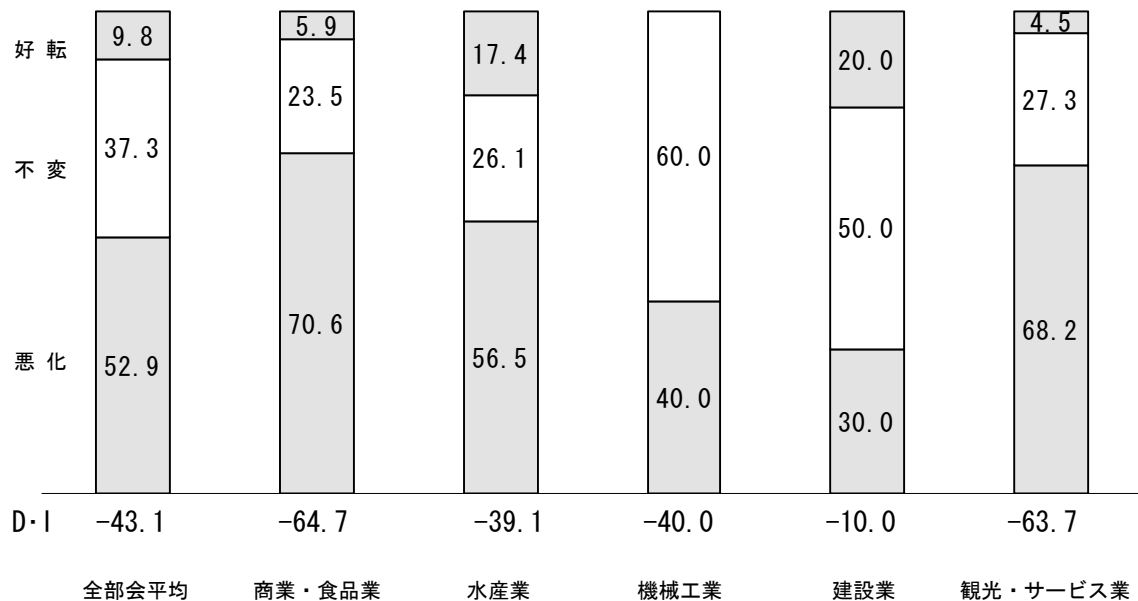
2. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成16年4～6月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

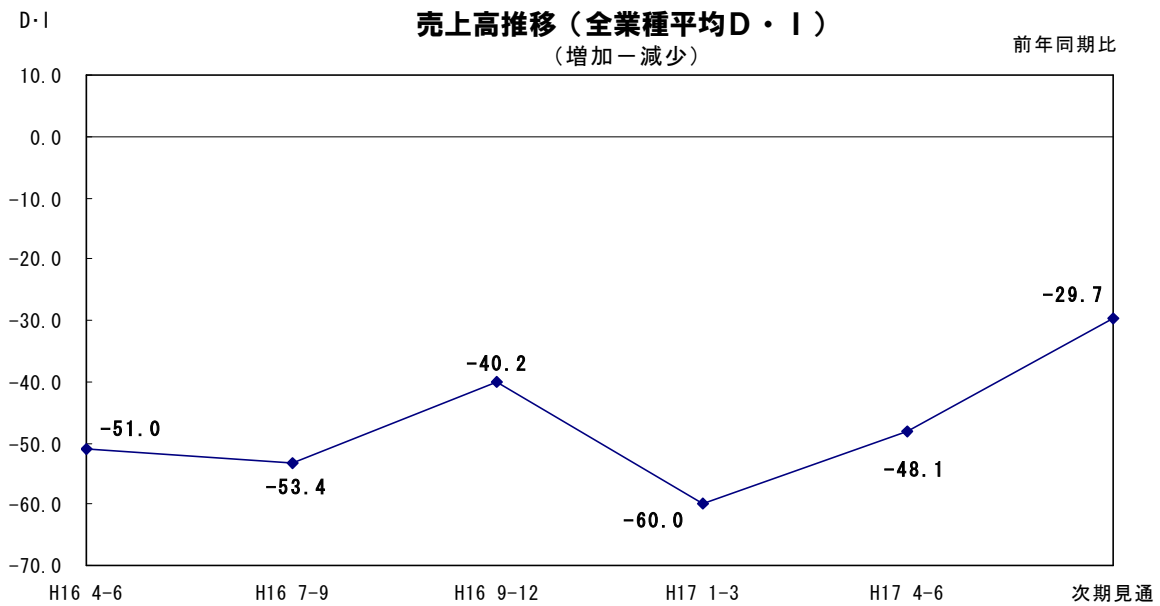


全業種平均でD・I値△43.1〔前回調査時（平成17年1～3月期△63.0）より19.9ポイントマイナス幅を縮小〕。

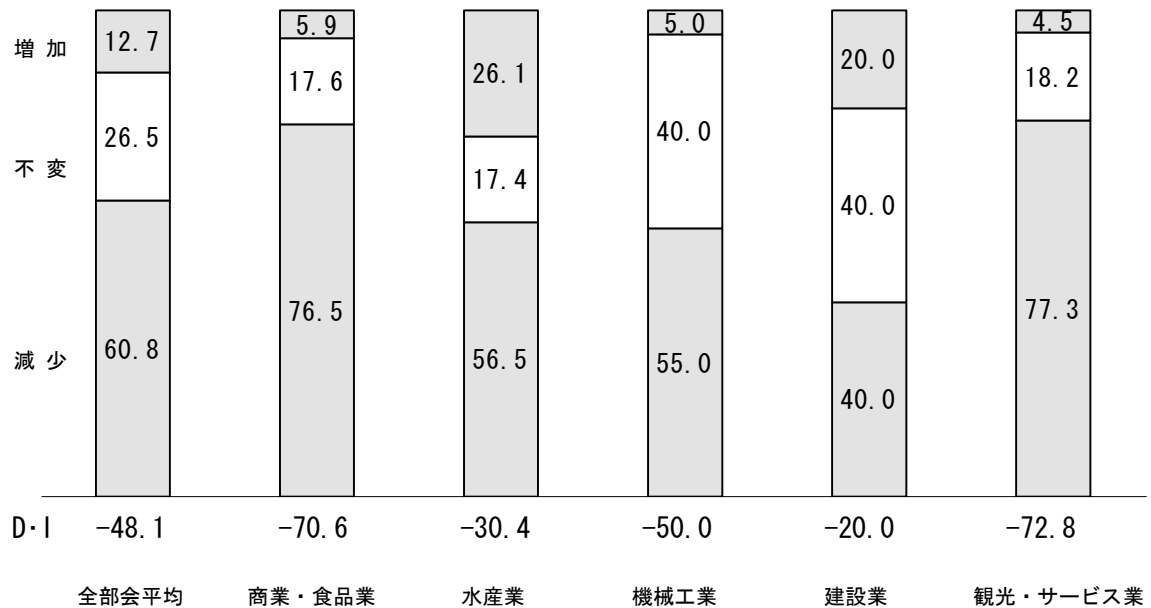
〔部会別D・I値〕 商業・食品業〔前回△93.8→△64.7〕、水産業〔前回△63.6→△39.1〕
 機械工業〔前回△38.1→△40.0〕、建設業〔前回△52.6→△10.0〕
 観光・サービス業〔前回△72.7→△63.7〕

(2) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 16 年 4～6 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

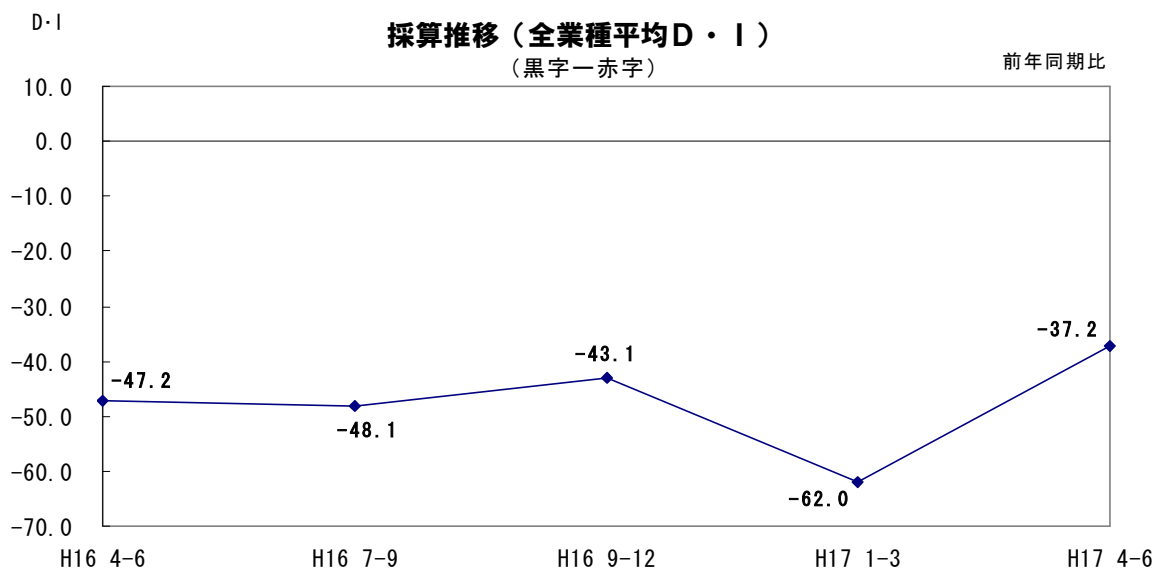


全業種平均でD・I値△48.1〔前回調査時（平成 17 年 1～3 月期△60.0）より 11.9 ポイントマイナス幅を縮小〕。

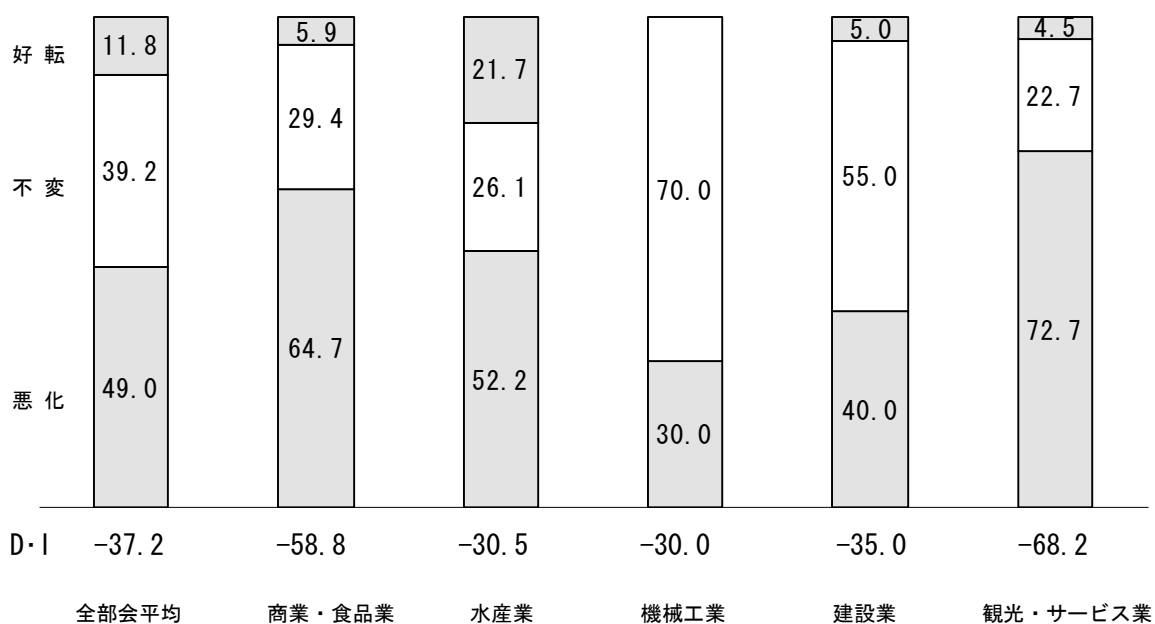
〔部会別D・I値〕 商業・食品業〔前回△93.8→△70.6〕、水産業〔前回△45.5→△30.4〕
 機械工業〔前回△38.1→△50.0〕、建設業〔前回△52.6→△20.0〕
 観光・サービス業〔前回△77.3→△72.8〕

(3) 今期の採算

【今期の水準】



採算推移(今期の水準)

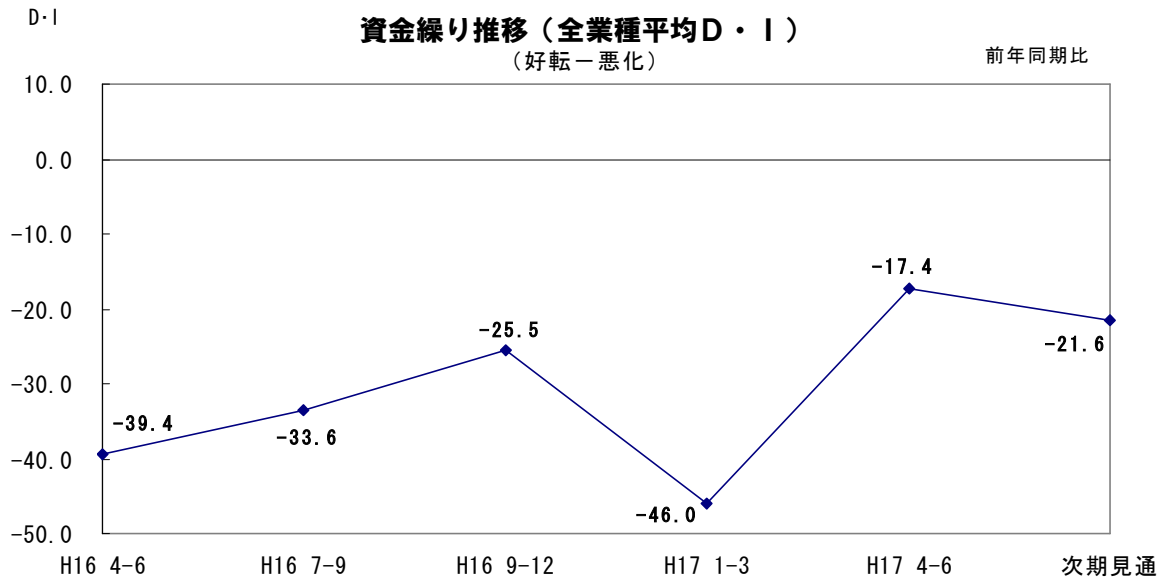


全業種平均でD・I値△37.2〔前回調査時（平成17年1～3月期△62.0）より24.8ポイントマイナス幅を縮小〕。

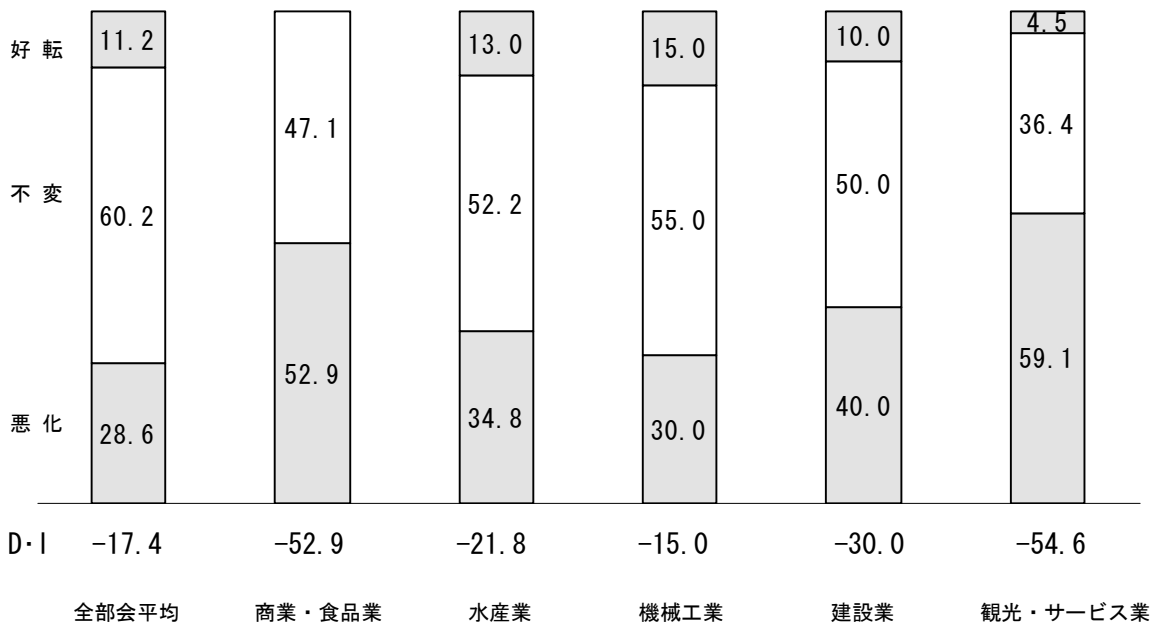
〔部会別D・I値〕 商業・食品業〔前回△81.3→△58.8〕、水産業〔前回△68.2→△30.5〕
 機械工業〔前回△42.8→△30.0〕、建設業〔前回△52.6→△35.0〕
 観光・サービス業〔前回△68.2→△68.2〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 16 年 4～6 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）

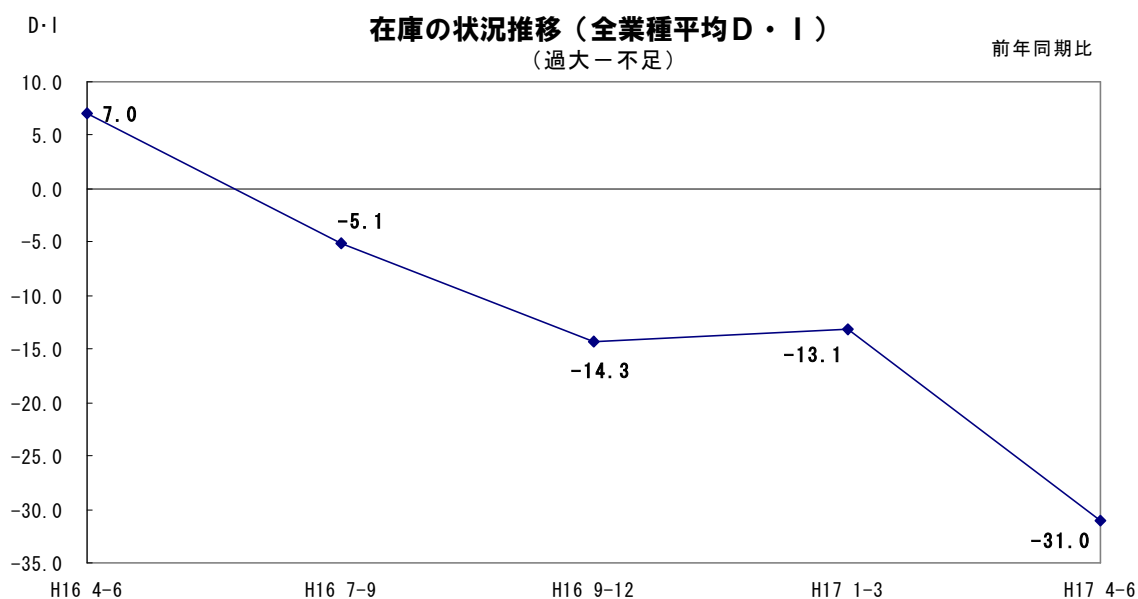


全業種平均でD・I値△17.4〔前回調査時（平成 17 年 1～3 月期△46.0）より 28.6 ポイントマイナス幅を縮小〕。

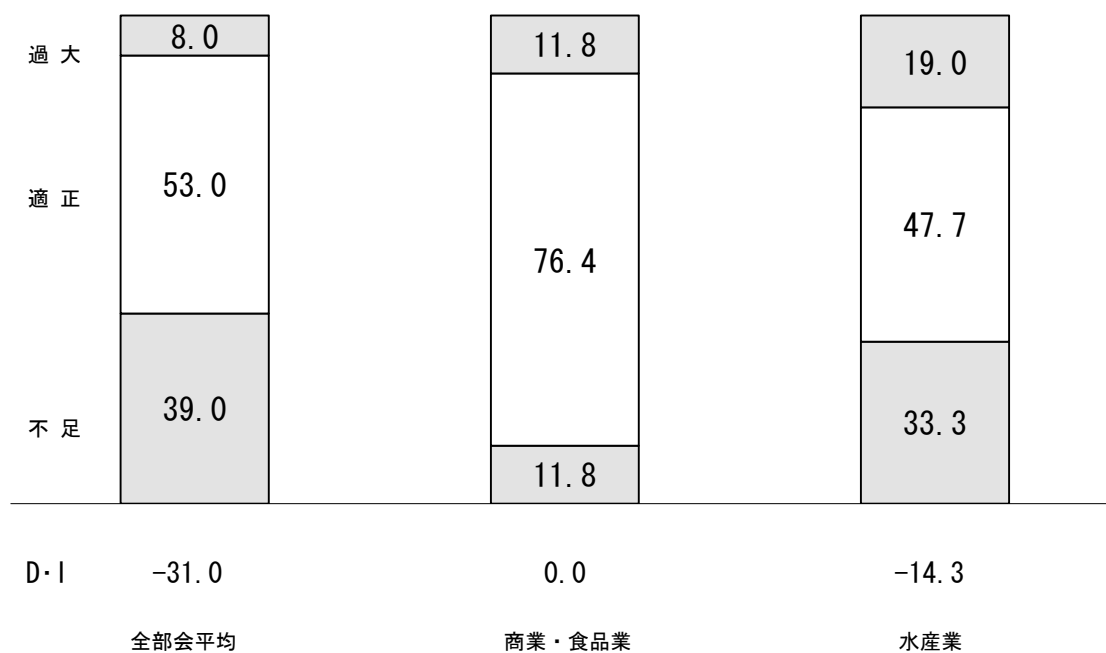
【部会別D・I値】 商業・食品業〔前回△62.5→△52.9〕、水産業〔前回△31.8→△21.8〕
機械工業〔前回△42.9→△15.0〕、建設業〔前回△47.3→△30.0〕
観光・サービス業〔前回△50.0→△54.6〕

(5) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 16 年 4～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）



今期の在庫水準（前年同期比）



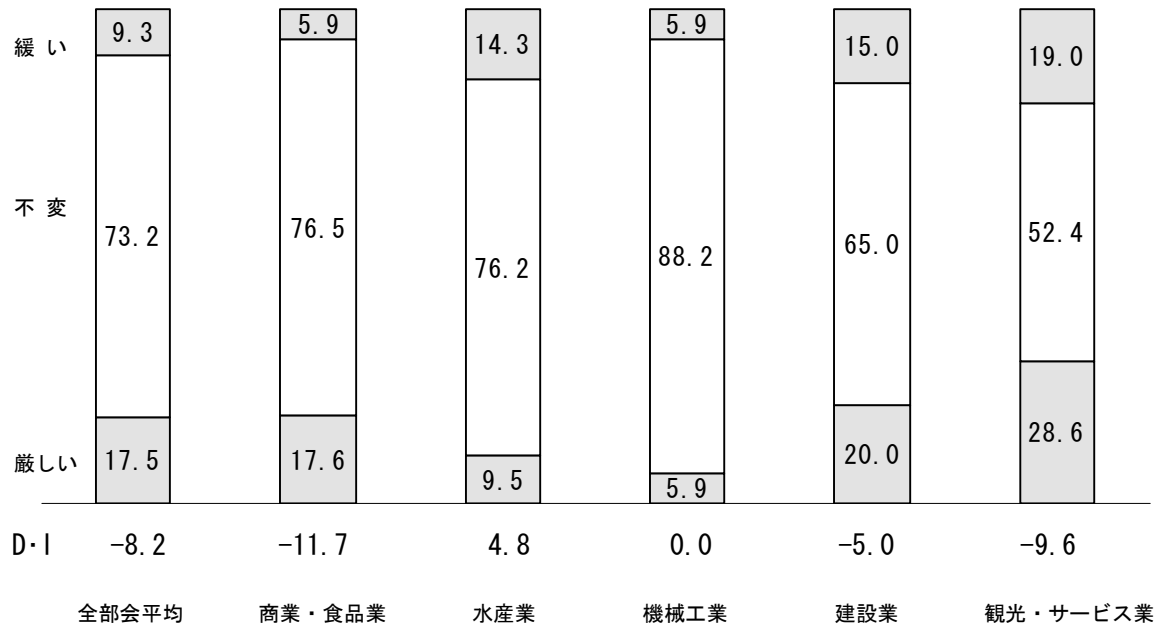
全業種平均で D・I 値△31.0〔前回調査時（平成 17 年 1～3 月期△13.1）より 17.9 ポイントマイナス幅が拡大〕。

【部会別 D・I 値】 商業・食品業〔前回△12.5→0.0〕、水産業〔前回△13.6→△14.3〕

(6) 今期の金融機関の貸出状況

【前年同期比】（平成16年4～6月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

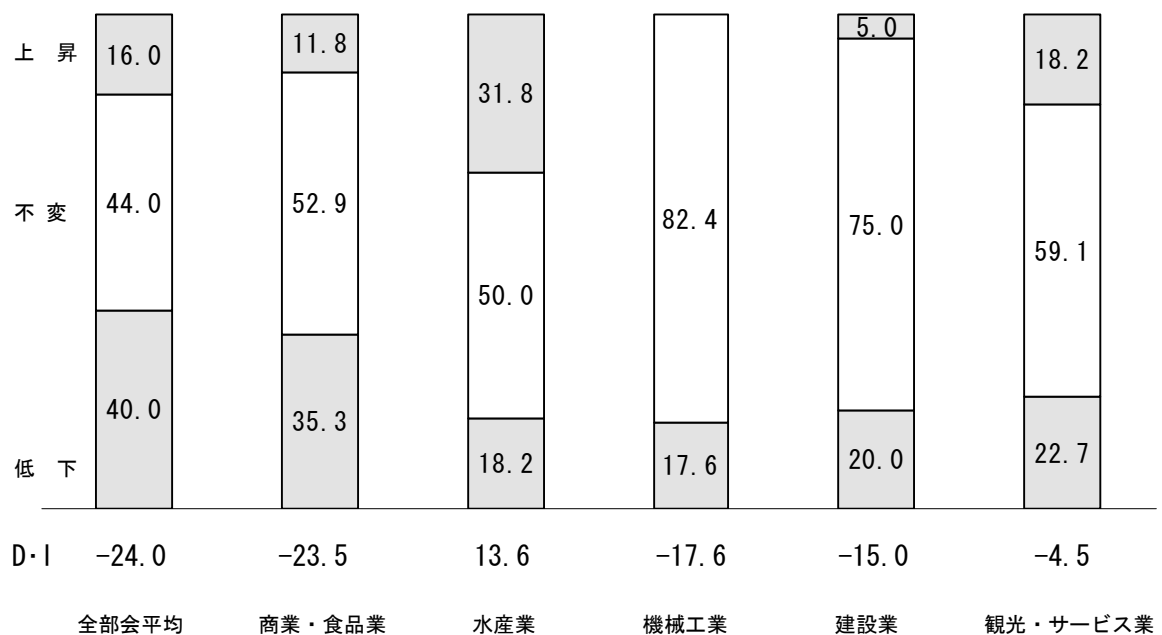
今期の金融機関の貸出状況



(7) 今期の借入金残高水準

【前年同期比】（平成16年4～6月期の水準と比較した今期の借入金残高の水準）

今期の借入金の残高水準



(8) 今期の経営上の問題点（複数回答）

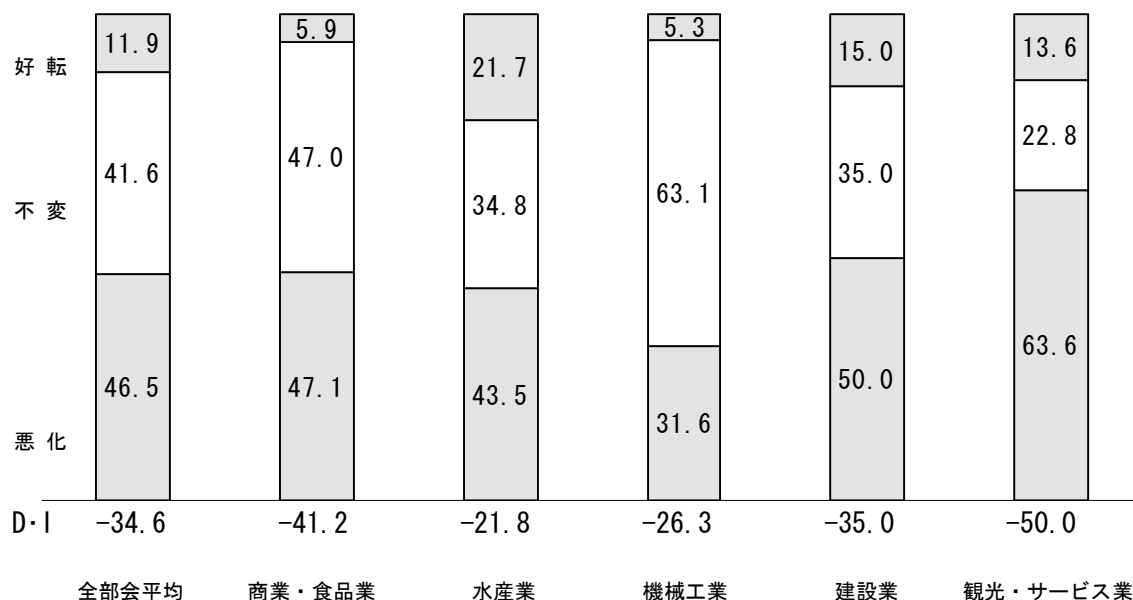
全 体	「得意先（客足）減少」 (48 ポイント) [前回 56 ポイント] 「売上の不振」 (47 ポイント) [前回 68 ポイント] 「同業者間の競争」 (33 ポイント) [前回 36 ポイント]
商業・食品業部会	「売上の不振」 (12 ポイント) [前回 15 ポイント] 「得意先（客足）減少」 (10 ポイント) [前回 15 ポイント] 「同業者間の競争」 (6 ポイント) [前回 7 ポイント]
水産業部会	「諸経費増」 (8 ポイント) [前回 10 ポイント] 「人件費増」 (7 ポイント) [前回 10 ポイント] 「売上の不振」 (6 ポイント) [前回 11 ポイント]
機械工業部会	「得意先（客足）減少」 (10 ポイント) [前回 13 ポイント] 「売上の不振」 (8 ポイント) [前回 12 ポイント] 「同業者間の競争」 (6 ポイント) [前回 6 ポイント]
建設業部会	「同業者間の競争」 (11 ポイント) [前回 14 ポイント] 「得意先（客足）減少」 (10 ポイント) [前回 10 ポイント] 「売上の不振」 (8 ポイント) [前回 14 ポイント]
観光サービス・諸業部会	「得意先（客足）減少」 (17 ポイント) [前回 17 ポイント] 「売上の不振」 (13 ポイント) [前回 16 ポイント] 「諸経費増」 (8 ポイント) [前回 8 ポイント]

3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 17 年 4～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

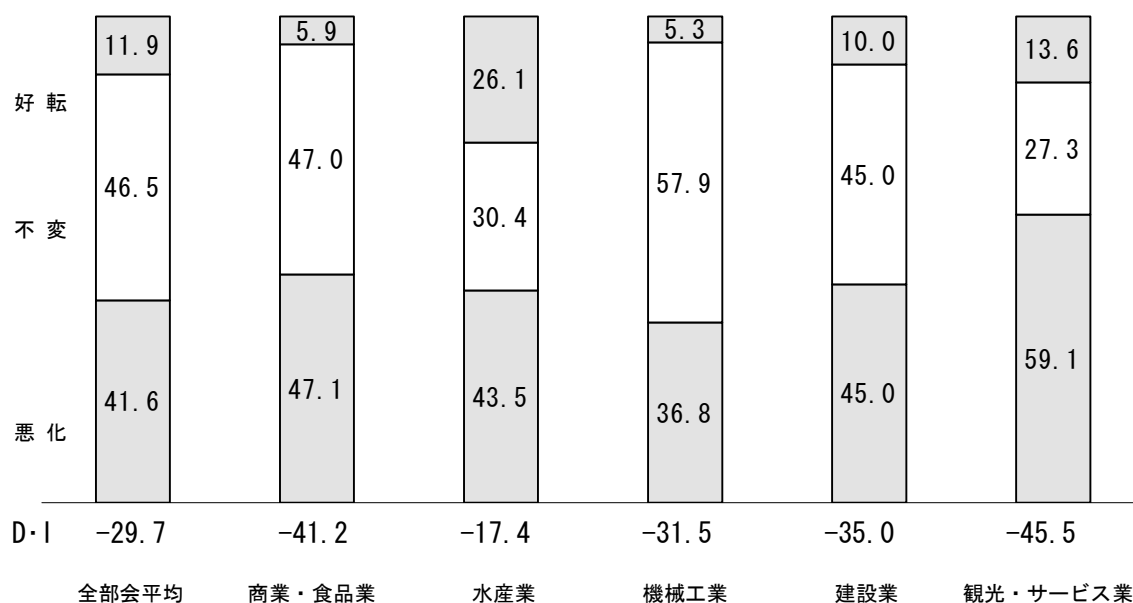


全業種平均でD・I値△34.6〔今期の業況（前年同期比△43.1）より8.5ポイント改善の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 17 年 4～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

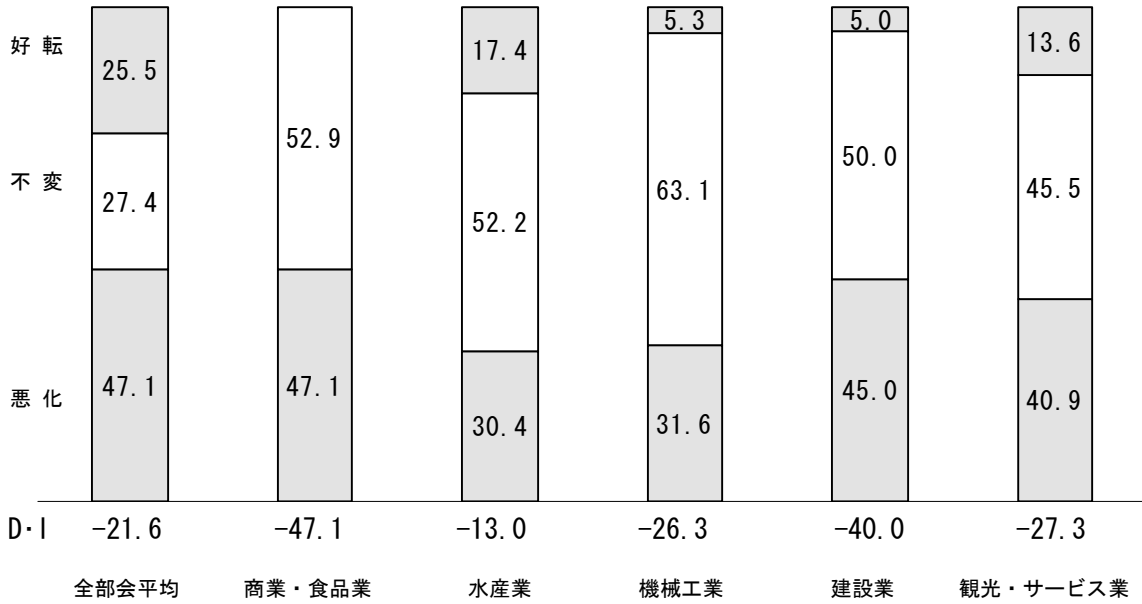


全業種平均でD・I値△29.7〔今期の売上高・生産高（前年同期比△48.1）より18.4ポイント改善の見通し〕

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 17 年 4～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均でD・I値△21.6〔今期の資金繰り（前年同期比△17.4）より4.2ポイント悪化の見通し〕

4. 各指標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 ナ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△43.1	△64.7	△39.1	△40.0	△10.0	△63.7
	来期見通し	△34.6	△41.2	△21.8	△26.3	△35.0	△50.0
売上 D・I	今期実績	△48.1	△70.6	△30.4	△50.0	△20.0	△72.8
	来期見通し	△29.7	△41.2	△17.4	△31.5	△35.0	△45.5
在庫 D・I	今期実績	△31.0	0.0	△14.3	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△37.2	△58.8	△30.5	△30.0	△35.0	△68.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△17.4	△52.9	△21.8	△15.0	△30.0	△54.6
	来期見通し	△21.6	△47.1	△13.0	△26.3	△40.0	△27.3
金融機関 貸出状況 D・I	今期実績	△8.2	△11.7	4.8	0.0	△5.0	△9.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 残高水準 D・I	今期実績	△24.0	△23.5	13.6	△17.6	△15.0	△4.5
	来期見通し	—	—	—	—	—	—